

学習ポータル標準モデルVer.3.00の構成

資料1

Ver.3.00の章立て	記載方針	Ver.2.00対応部分
1. はじめに	・ドキュメントの目的、規定するシステム間連携の範囲、ベースとする国際標準規格と標準モデルとの関係、およびドキュメントの構成を説明する。	1. 学習eポータルの概要
2. 用語	・主要な国際標準規格と、ドキュメント内で使用する用語について説明する。	2. 本ドキュメントの位置づけと用語
3. 学習eポータルとは		
3.1 コンセプト	・学習eポータルのコンセプトを記載する	なし
3.2 学習eポータルをハブとした学習環境	・学習eポータルをハブとした学習環境を説明する。	なし
3-3 学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境における基本的考え方	・学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境における技術面、運用面両方からの基本的考え方を記載する。	なし
3-4 学習eポータルの利用者	・学習eポータルの想定される利用者について定義する	4. 学習eポータルの利用者
3-5 学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境のユースケース	・学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境における想定されるユースケースについて記載する。	4. 学習eポータルのユースケース
4. 製品に関する要件・仕様		
4-1. 学習eポータルの機能要件	・Ver.2.00の内容に、LRSとの連携、校務支援システムとの連携を追加する。	5. 学習eポータルの機能要件
4-2. 学習ツールとの連携技術仕様	・Ver.2.00にMEXCBT以外の学習ツールとの連携仕様を追加する。	6. 学習ツールとの連携技術仕様
4-3. 校務支援システムとの連携技術仕様	・OneRosterによる名簿情報のCSV連携仕様を記載する。	なし
4-4. LRSの技術仕様	・LRSの構築における標準仕様を記載する。	なし
5. 運用に関する指針・要件	・学習eポータルをハブとしたデジタル学習環境を運用していく上での指針や要件を記載する。 例) データポータビリティ	なし
6. 学習eポータル標準モデルVer.4.00に向けた対応事項	・学習eポータルに関する専門家会議で提示された課題や方向性等をもとに、学習eポータル標準モデルVer.4.00としてまとめるべき事項を記載する。	なし
7. 将来像と課題	・課題と将来像をまとめる。	7.将来像と課題